

木下敬二 千葉県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

欠損金解消計画を策定へ

水産業の振興求め……

経営不振の漁協対策を要望

旧千倉町長から市町村合併により県議会議員に転進した木下敬二(きした・けいじ)県議は、地元・南房総地域の振興に情熱を燃やし、二月県議会でも再び一般質問に登壇しました。

今回は水産振興問題を中心に質問し、この中で木下県議は、欠損金や不良債権を抱えて経営難に苦しむ漁業協同組合の経営

問題を取り上げました。県は、県漁連と連携し、本年九月までに欠損金解消計画を策定するなど、積極的に支援する考えを明らかにしました。

このほか、南房総地域の道路問題や教育問題、雇用と就職対策などをいただきました。木下県議の主な質疑を1、2面で特集します。

「経営指導委員会」を設置

木下議員 経営不振の漁業協同組合に対し、県はどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 県は、厳しい漁協経営の状況を踏まえ、経営不振漁協対策を推進し、単年度収支の改善を図られましたが、なお多くの漁協が繰り越し欠損金や不良債権などを抱えています。

国からは、昨年四月、新たな総合的漁協対策が示されています。今後、県漁連等と連携し、経営不振漁協対策に積極的に取り組んでまいります。

南房総市・安房郡特集 ■ 2月県議会一般質問 ■



本会議場の壇上で一般質問する木下敬二県議

要望 欠損金処理等の対応を誤ると、漁協の存在すら危ぶまれます。しっかりとした議論を進め、組合員になつてよかつたと言われるような処理対策になるよう要望します。

漁場造成事業を

木下議員 漁場造成事業の検証結果はどうか。また、平成十六年度以降は事業が行われていない理由は何か。

農林水産部長 県は、沿岸漁場整備開発法に基づき、イセエビとアワビを対象に、外房地先で石積み礁やコンクリート平板の設置による漁場造成を行ってきました。

その結果、イセエビは全国トップクラスの産地としての地位を守っています。アワビは、本県最大の生産地である房州ちくから漁協南部地区で、アワビ漁場全体の3%の面積しかない造成漁場で、当該地区生産量の約二割を占めています。

南房総地域の振興策

木下議員 南房総地域の振興について、地域の特性を生かした地域づくりを推進する必要があるが、今後どのように取り組んでいくのか。

堂本知事 今後とも、地域自らが主役となった活力ある地域づくりを支援するとともに、今年度拡充した補助制度の活用による企業立地、観光拠点間の道路ネ

ットワークの強化なども積極的に進めてまいります。これから、南房総の資源が、立体的に相互に関連しあつて展開できるようにしていきたいのではないかと考えています。

県としても、これが次第に芽を出して、さらに大きく実っていく日は遠くないのではないかとという気持ちです。

木下敬二 県議・PROFILE

- 略歴■
- 昭和23年 5月 旧千倉町に生まれる
 - 昭和42年 3月 県立安房高校卒業
 - 昭和46年 3月 日本大学経済学部卒業
 - 平成7年 3月 千倉町議選に初当選
 - 平成11年 4月 千倉町議会副議長就任
 - 平成13年 4月 千倉町長選に出馬、初当選
 - 平成18年 3月 市町村合併により千倉町長失職
 - 平成19年 4月 県議選に出馬、初当選
- 経歴■
- 県議会 健康福祉常任委員会副委員長
 - 自民党県連 政務調査会副会長
農業土地改良議員連盟
水産振興議員研究会

夢ある南房総市・安房を築きます

県政や南房総市・安房郡のご相談をお寄せください…… 〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1

木下敬二 県議 事務所 TEL.0470 (44) 4111 FAX.0470 (44) 4112

●木下敬二公式ホームページ=http://kishita.awa.jp/ ●Eメール=kishita@awa.or.jp

南房総市・安房郡特集

2月県議会

一般質問

地域のために働きます!

木下敬二

内定取り消しなどに対応し

「高校生就職問題緊急対策班」を設置 「高校生就職問題緊急対策班」を設置

授業料減免者数は増加傾向

木下議員 今後、経済不況から授業料を納めることのできない高校生が出てくるものと思われま。現在、奨学金を受け取っている方は何名くらいいるのか。また、来年度は希望者に十分対応できる予算になっているのか。

教育長 従来から実施してきた第一種奨学金と日本学生支援機構から移管された第二種奨学金を実施しており、これまで、貸付要件に該当するすべての申請者に貸付を行ってきました。平成二十一年一月現在の貸付者数は、合わせて千三百八十人となっております。前年度が年間で千四百十七人だったことから、今年度もほぼ同程度となる見込みです。

当初予算では、骨格予算ではありませんが、必要な規模八億四千七百六十二万円を計上したところで、木下議員 授業料の減免措置を受けられる条件と、現在減免を受けている人数はどのくらいか。教育長 県立高校の授業料減免措置は、経済的な理

由で授業料の納入が困難な場合に、一部または全部を免除するもので、生活保護や失業等による家計の急変

についても対応しています。平成二十年一月現在の授業料の減免者数は、八千二百二十五人となっております。前年度は年間で七千八百七十二人だったことから、増加傾向となっております。



本会議場で再質問に立つ木下敬二県議

高校生への就職指導を要望

木下議員 高校生の内定取り消し者への対応や未だ就職が決まっていない生徒への就職指導はどのように行っているのか。教育長 本県高校生への内定取り消しは、十三名ありましたが、その後、取り消しの撤回等があり、現在十二名の進路が決定してい

ます。県教委では、こうした事態を踏まえ、「高校生就職問題緊急対策班」を設置し、昨年十二月から幹部職員が県内各地の商工会議所やハローワークを訪問し、文書により内定取り消し問題や今後の雇用確保を働きかけてきました。なお、就職状況は厳しい

ものがありますが、各学校で就職を希望する生徒が、一人でも多く希望先へ就職できるように関係機関と連携してきめ細かい指導をしてまいります。

要望 高校生の就職支援委員会に偏ることなく、県庁をあげて、我々の宝である高校生のために一生懸命頑張ってください。それを強く要望します。

県道和田丸山館山線整備へ

木下議員 県道和田丸山館山線の旧丸山町から旧三芳村の区間については、周辺道路の整備状況や今後の交通状況等を勘案し、整備の必要性について検討するとの事だったが、その検討結果はどうか。

県土整備部長 県道和田丸山線の南房総市域については、幅員の狭い区間が多く交通量も増加していることから、整備の必要性は十分認識しているところで、現在、池之内地先で延長約七百五十メートルの拡幅整備を進めるとともに、和田町真浦地先についても、

ふるさと雇用再生交付金 ふるさと雇用再生特別交付金に関して、現在県及び市町村で実施する事業の検討を進めているとの事だが、この基金を有効に生かして、地域の発展と雇用促進につながるような事業を行うよう要望します。

事業実施に向けて具体的な検討を進めています。残る未整備区間に関しては、現在、事業実施中の箇所の進捗状況等を踏まえ、市ともよく相談しながら、整備時期や効果的な整備手法について、今後検討してまいりたいと考えています。

木下議員 県道和田丸山館山線は、一日も早く調査測量に入ってもらいたいがど

道路維持費増額を要望

木下議員 排水整備及び道路維持の事業費を増額し「安心して暮らせる地域づくり」の実現に向け、地域整備の拡充を推進すべきと思うがどうか。

県土整備部長 県では、安全で快適な道路環境を確保するため、限られた予算を有効に活用するとともに、緊急性や必要性を踏まえ、地域状況に応じた維持補修を行っています。

維持管理については、道路パトロールの充実・強化とサービスの低下を招かないよう、効率的・効果的な事業執行を図っています。平成二十年度において、対前年度比約二億五千万円を増額し、九十五億円としたところで、今後とも、良好な道路環境を維持するため、必要な予算確保に努めてまいります。



総合型千倉スポーツクラブ「ドルフィン」(会長・木下敬二) 主催の小松寺ハイキングでの一コマ